



ED(十二指腸チューブ)の管理

ED チューブとは

胃から十二指腸への通過障害がある場合、空腸までチューブを挿入して経腸栄養を行います。

必要物品

- 経腸栄養ポンプ
- ジェイフィード注射器
- ジェイフィード栄養ボトル
(持続の場合は交換用に2個)
- カテーテルジョイント
- ネオフィードENポンプ用セット
- 重曹水

管理方法

- ① チューブの種類は です
- ② チューブの太さは Frです
- ③ チューブの体の外の長さは、鼻～フタの手前まで cmです

手順

- ① 注入は、経腸栄養ポンプを使用し、設定速度 ml/Hで行います
- ② 毎に栄養ボトルとルートを交換します
- ③ 栄養ボトルをルートの交換時、チューブが詰まらないように、交換時に白湯を ml 流します。また、1日1回 (時～ 時)、重曹水 mlを 1時間充填させましょう
(重曹の作成方法などについては別紙参照してください。退院前に栄養科から説明があります)
- ④ 内服薬を十二指腸から投与するときは、多めの白湯 (10～15ml) でしっかり溶いて投与しましょう

注意事項

- ① 1日1回は挿入の長さ (鼻～フタの手前) を計って抜けていないか確認しましょう
挿入の長さが指示された長さと違う場合は病院へ連絡しましょう
- ② 十二指腸チューブが詰まってしまった場合は病院へ連絡しましょう

日々の管理のポイント

- 栄養が、胃から腸へとゆっくり流れて吸収されていたものが、腸に直接流れていくことになります。そのため、注入速度が速いと血糖が急激に上昇し、それを下げようとインシュリンが分泌され、血糖が下がる場合があります。この場合、冷や汗が出たり、動悸 (ドキドキして脈が速くなる) が起こることがあるので、経腸栄養ポンプを使用し、指示された速度でゆっくり注入しましょう。

何かお困りのことがございましたら、かかりつけ医か当院外来にご相談下さい。